

## 一時避難所から避難住宅へ、被災者への住宅提供が必要です

### ●市民ボランティアと行政が力を合わせて、被災者の再出発を応援しよう

地震発生から2週間、避難所暮らしが長期戦になってきています。被災者の生活再建を考える時、安定した住宅確保が欠かせません。ところが、流山市は、避難所に一時避難している被災者への住宅提供に消極的です。「相馬市から避難受け入れがあった時のために保持している」との市長発言が背後にあるようです。被災者は、流山市を頼ってきたにもかかわらず、この先どうなるのかわからない不安でいっぱいです。安定

的な住宅に入れれば、各種支援制度の活用も可能です。市は、直ちに住宅を提供すべきです。

埼玉のスーパーアリーナでは500人のボランティア募集に3千人が応募してきたと報道されています。食事配り、マッサージ、理髪、子どもの勉強の手助けなど、ボランティアがフル稼働しています。

流山市でも、市が旗振りとなって市民ボランティアを呼びかける必要があるのではないのでしょうか。

### ●千葉土建主婦の会有志で炊き出しボランティアに参加。3月中の炊き出し体制確保。さらに広く

共産党対策本部が呼びかけた炊き出しボランティアに、新日本婦人の会と千葉土建主婦の会有志のみなさんが、積極的に応えてくれました。27日は、昼食・夕食とも新婦人。色々な料理を持ち寄っての昼食が「バイキングみたい」と好評だったそうです。

[当面の炊き出しの予定]

28日(月) 昼:新婦人 夜:日赤

29日(火) 昼:土建有志 夜:日赤

30日(水) 昼:新婦人 夜:日赤

31日(木) 昼:土建有志 夜:日赤

なるべく特定の団体に偏らないように、自治会や民生委員の方たちにも呼びかけを広げていきましょう。ぜひ、みなさんからも、声をかけてください。

炊き出しボランティアの調整係を新婦人支部長の安藤さんにお願ひしました。

## 相馬市への支援とともに、流山市に避難しているすべての被災者に支援の手を

流山市は福島県相馬市と災害相互協定を結んでおり、相馬市からの要請に応えることを救援活動の基本にしています。義援金も、支援物資、ボランティアも相馬市を対象としています。市長は、救援活動も「効率的」と言っています。

一方で、市内には、一時避難所や各家庭に被災者が避難していますが、その実態は把握できていません。これら避難者に学校や介護・福祉、医療などが十分行きとどいているのか、それぞれの家庭で色んなことで

困っているのではないかと心配です。いま、きめ細やかな対応が必要です。

市当局は、教育委員会、福祉部門など総力をあげて実態を把握し、必要な支援を組織する必要があります。

### 「妊婦には井戸水を配りませんと言われました」・・・

妊娠中のお母さんから徳増議員に訴えが寄せられました。さっそく小田桐議員に連絡をとって水道局に要請しました。その結果、市民の不安解消のために、妊婦でも子供がいる、母子手帳は忘れてしまったといえ、水はもらえることになりました。いっぽう、妊婦には影響少ないとする学術学会の提言をおさえ、不安をあおらず、冷静に対応するよう求めました。

避難所を抱える北部地域では、何かあればお手伝いしたいとの声がひろがっています。

### ●震災にかかわる行政の窓口は

流山市東日本大震災相談センター

7158-1111 市役所

### ●救援活動やお困り事など何でもお寄せください

日本共産党流山市震災対策本部

いぬい紳一郎事務所 7157-6140

小田桐たかし事務所 7154-8253

徳増きよ子事務所 7144-1753

植田和子事務所 7154-0288

### 救援活動の情報をお寄せ下さい

市議団のHPもご覧ください (FAX7157-6140)

<http://www.geocities.jp/kfbkd645/>